

**一般社団法人
プロジェクト結コンソーシアム**

第3期 事業報告

自平成25年1月1日 至平成25年12月31日

1. 法人の状況に関する重要な事項

【法人設立の背景・目的】

震災で子どもたちの学び・遊びの場や機会が、大きく損なわれてしまいました。東北・日本の未来を担う子どもの成長の機会を一日も早く復旧させることはもとより、創造的で多様性に溢れる学び・遊びの機会を日本、世界の賛同団体や個人が皆で支える(やりたい人ができることをやれるだけ)ことができないか。また、子どもたちが主体性と希望に溢れ、自立心を持つ青年に成長する場に被災地を変革させることはできないか。そのような思いに基づき、私たちは一般社団法人プロジェクト結コンソーシアム(以下、プロジェクト結)を立ち上げました。

「被災地の教育の復旧≒震災前に戻す」ではなく、次代の成長を担う人材を豊富に輩出する「人材育成の先進地域」へと東北を再興し、日本における教育の新たなモデルを生み出す。震災後に立ち上げたにも関わらず、多くの教育委員会(23 都府県・58 市区町村の教育委員会等で構成される全国コミュニティ・スクール連絡協議会を含む)、地方自治体に賛同いただいているのは、上記趣旨への賛同が背景にあります。

プロジェクト名の「結(ゆい)」とは、日本古来に伝わる、田植え・屋根葺き等一時に多大な労力を要する農や生活の営みを共同作業で行う制度です。「結(ゆい)」という名には、官民や地域の垣根を越え、被災地の創造的復興に知恵と力を出し合い、子どもたちの成長を皆で支えたいという思いを込めています。同時に、「結」は本団体が提供する価値も表します。それは、子ども、ご家族、学校関係者など被災した方々の様々な学び・遊びへのニーズと、賛同企業・個人のノウハウを適切にマッチング(結び合せ)することです。被災地のニーズをていねいに拾い、提供側の「押し付け」や「一回限り」にならない、継続的で実効性の高い学びの機会を多面的・複合的に提供することを結はめざします。

【活動の概要】

2013 年は、仮設団地内集会所での「みんなの場」事業、未就学児の託児と学童保育「結のいえ」事業、石巻市教委と連携し市内の小中学校を対象とした「学校サポート」事業を実施いたしました。

7 月には「みんなで作る みんなの場プロジェクト」が、内閣府認証 NPO キッズデザイン協議会が主催する「第 7 回キッズデザイン賞」において復興デザイン部門で受賞致しました。多くのご支援をいただいていた皆様へ感謝するとともに、評価いただけたことを励みに、今後も継続的に活動してまいりたいと思います。

3 年目の活動の内容は、発災当初の緊急度の高い「復旧・復興」のステージから、支援する側・支援される側がより密な関わりを持つ「協働」のステージへ変化していることに合わせて、随時見直しを図っております。これから先は、地域を越え、立場を越えた連携に基づく「協働」がますます求められます。「震災前に戻す」ことと同時に、この 3 年間で育んだ関係性を活かし、地に足のついた「創造的な協働」を進めていきたいと思っております。

(1) 日常支援事業

放課後の子どもたちの「学びと遊びの場」を確保すべく、子どもたちおよび保護者さらに地域の方々とボランティアが継続的に集える「みんなの場」を、仮設住宅の集会所にて実施しています。

ボランティアスタッフ中心に実施してきた当事業は、現地の状況の変化に応じ、2013 年秋ごろより活動する団地ごとの状況に応じて、来年度以降の活動見直し(現地化、事業移管、活動終了、等)を進めています。

[実施実績]

- ・ 開成団地 : 2011 年 8 月開始、週 3 回程度、子ども参加平均:10~15 名
- ・ 大橋団地 : 2011 年 9 月開始、週 3 回程度、子ども参加平均:10 名前後
- ・ 南境 7 団地 : 2012 年 3 月開始、週 3 回程度、子ども参加平均:12 名前後
- ・ 向陽団地 : 2012 年 2 月開始、週 1 回、子ども平均参加:15 名前後
- ・ 押切沼団地 : 2012 年 6 月開始、週 1 回、子ども参加平均 4~8 名
- ・ 東北電子 : 2012 年 9 月開始、週 2 回、子ども参加数:10 名前後

※開成団地、押切沼団地、東北電子では 2014 年 3 月現在活動を終了しております。

(2) 学校サポート事業

小学校・中学校の先生方が、より子どもと向き合える時間を確保できるようになることを目的に、ボランティアレベルで対応できる事務業務等をプロジェクト結でお手伝いしています。また、本年は地域や家庭、企業、他校など、外部でもっている学校運営を円滑に進めるために必要なリソース(人材や物品、情報)を活用するための連携支援に重点を置いて活動しております。

また、昨年まで「非日常支援事業」として実施していた職業講話(キャリア教育支援)等のイベントによる支援事業はこちらの事業に併合しております。

[主な事例]

- ・ スクールバスの見送り:渡波小学校 (2012 年 5 月 9 日に開始し、のべ 257 日にわたって子どもたちの朝を見送らせていただき、2013 年 10 月 15 日をもって終了いたしました)
- ・ 学校のプール清掃応援 : 大原小学校、石巻小学校、北上小学校、桃生中学校 等
- ・ 学校の図書整理 : 渡波小学校、鮎川小学校、前谷地小学校、蛇田中学校 等
- ・ 学芸会バック絵づくり : 門脇小学校、釜小学校、東浜小学校、二俣小学校 等
- ・ 職業講話(キャリア教育支援) : 桃生中学校、北上中学校、飯野川中学校 等

(3)託児所事業

2013年2月より石巻市中里に「結のいえ」を設立し、石巻市内に不足していた一時保育のサービスを提供することで、仮設住宅等で子育てを行う家族をサポートしています。また震災から2年がたち、再就職を希望する子を持つ親に対して無償で保育サービスを提供することで、子育て中の母親の職場復帰を支援しています。

[実施実績]

- ・毎日10名程度の未就学児と、3名程度の学童を保育。平均月間利用者数35名。
- ・利用人数はのべ2037名、利用時間はのべ10,658時間。登録者数129名(12月末時点)。
- ・就業支援制度の利用は11名。うち5名が就業されており、うち3名が就業活動中です。

2. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

当法人は監事設置一般社団法人であり、法令に定められている社員総会及び理事会を設置しています。

理事会は、11名で構成され、毎月2回定例で開催される運営会議に加え、必要に応じて随時開催されるグループウェアやインターネット通話を通じた会議の中で、法令に定められた事項のほか経営に関する重要議案を決議しています。決議の内容は全て議事録としてグループウェア上に公開され、理事、監事の他、当法人の運営に携わるすべての主要メンバーに常時開示されています。

【附属明細書】

特に事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。